

令和4年度 学校評価結果（概要版）

★全体として

ほとんどの項目で4点満点中3点以上（「よくあてはまる」～「だいたいあてはまる」）の評価でした。以下、評価平均（2.5点）に近く、課題のある項目についてのみ、その概要と次年度の改善の方向性について記載します。

★概要と改善の方向性（評価が2点台だったもの）

○たくましさ

- ・「粘り強く考えたり、最後までやりとげたりするたくましさは育っていますか」（評価：2.85）

→児童アンケートでは、「学級や学校をよりよくしようと努力している」と回答しており、学級通信等を活用し、児童のよさやがんばりを保護者へ伝え、家庭でも話題に挙げていただき、学校でのがんばりを家庭生活へつなげられるようにしていきます。

○読書習慣

- ・「読書をよくしている」（評価：2.78）

→児童アンケートでは多くの児童が「読書は好き」と回答しているが、図書室を利用する児童は固定化の傾向にあります。今後も、図書委員会等、児童の主体的な活動をさらに活性化させるとともに、家庭の協力を得て読書に親しむ機会を増やしていきます。

○外遊び

- ・「休み時間は外でよく遊んでいる」（評価：2.59）

→委員会や集会の活動など、児童が休み時間に様々な活動を行っているため、高学年になるほど、自由に過ごす時間が少なくなっています。児童数減少のため、行事などの準備に時間はかかるものの、児童の主体的で自治的な活動の基礎となる「遊びの時間の確保」に向けた取組を進めていきます。

■学校評議員からのご意見

- ・「学校が楽しい」と「友だちと遊ぶのが楽しい」の項目がいずれも高評価となっており、先生や友だちといることが楽しい様子が見られるので、学校経営はうまくいっていると感じる。
- ・タブレットや電子黒板などの、学習するためのアイテムが充実していて、うまく使いこなしている。
- ・アンケートの個々の結果から、気になる児童への個別の対応をお願いしたい。
- ・少人数の利点を生かしている。個に応じて、スモールステップなどの方法で児童に自信をつけてやってほしい。
- ・物事が自分の思うように進まなく、壁に当たったときに乗り越えられるように、メンタル面で強い子にしてほしい。